

1 子どもの読書活動の意義

子どもの成長にとって、読書活動はなぜ大切なのでしょう。

子どもは、本の中の登場人物やものに感情移入し、話の展開を楽しむことで、言葉を知り、いろいろな人の考え方や感じ方に触れ、表現力や想像する力を豊かにし、未知の世界への興味や関心を高めていきます。また、小学生の読書活動と「論理的思考」、「意欲・関心」などとの間には広く関連性が見られています。※

こうした力は、子どもが人生をより深く生きる力を身に付けていく上で、欠くことのできないものなのです。

※参考：子供の読書活動の推進等に関する調査研究

(平成29年3月株式会社浜銀総合研究所・平成28年度文部科学省委託調査)

2 子どもと本をつなぐ方法

(1) 本を置いてみませんか

まだ本を置いていない場所に本を置いてみることから始めませんか。

協力いただける方に本の寄贈をお願いしてもいいですし、自治体の図書館によっては団体貸出でまとまった本を借りることもできます。また、このブックレットにも本を紹介していますが、本選びに困ったとき、もっとたくさんの中から選びたいときは、近くの図書館に相談してみてください。

本を置くことで、子どもが新しい心の居場所をみつけることができるでしょう。



(2) 読み聞かせ

「読み聞かせ」とは、絵本や物語を声に出して子どもに向けて読むことです。活字を読むことが難しい子どもにも、絵本や物語の世界に浸る楽しさを伝えることができます。また、自分で文字を読むことができる子どもでも、誰かに読んでもらうことは、自分で読むのとは別の楽しさがあります。

◆子どもと1対1で読む

子どもと1対1での読み聞かせでは、子どもの成長に応じたスキンシップをとることで、その心地よさが本を読む時間の楽しさにつながることもあります。

子どもがリラックスできるような雰囲気をつくり、ゆっくり、心をこめて子どものペースにあわせて読むことが大切です。

◆大勢で楽しむ

「読み聞かせ」には、大勢の子どもに読む方法もあります。

大勢で同じ本を楽しむ（共通の体験をする）ことで、読み終わったあとも、長く読書の「どきどき」や「わくわく」を共有することができ、一体感が生まれます。そこから子どもの「また読んでほしい」や、「じっくりひとりで楽しみたい」という読書への関心がわいてきます。

年齢も本の好みも、さまざまな子どもと一緒に楽しむ手法として、遊びの要素を取り入れてはいかがでしょうか。たとえば、「なぞなぞ」や「しりとり」、リズムカルに韻を踏む「言葉遊び」の本は、みんなで楽しめるとともに、言葉の獲得にもつながります。

また、あまり本に関心を示さない子どもには、日頃の活動に沿った本を紹介してはいかがでしょうか。たとえば、みんなで食事をした日は「食べもの」の本、自然観察をした日は「生きもの」の本。実際に触れたものの感動や好奇心が冷めないうちに読書につながるとより楽しむことができます。



(3) えほんのひろば

「えほんのひろば」は、たくさん本を表紙が見えるようにずらりと並べて、自由に楽しんでもらう場所です。

じっとして聞くことや、たくさん読むことが苦手な子どもも、自分のペースで好きな本と向き合うことができます。折りたたみできる段ボールの本棚（「面展台」といいます。）を使うので、後片付けも簡単。子ども食堂や放課後の活動でも、気軽に楽しむことができます。

「えほんのひろば」では、子どもの感性に寄り添って、子どもが本を読む、お手伝いをしてください。



大阪府では、「えほんのひろば」のための絵本や面展台の貸出しをしています。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/chikikyoiku/osakapageone/ehonhiroba.html>



また、図書館によっては、「えほんのひろば」のための絵本や面展台の貸出しをしているところがあります。



(4) 読書へのアニメーション

「読書へのアニメーション」は、読書が苦手な子どもが楽しみながら読む力を育てるように、遊びの要素を取り入れた「作戦」を用いながら、子どもの深く読む力を導きだす手法です。この「作戦」には、わざと物語を読み間違えて間違いさがしをする、登場人物や出てきたものをあてる、物語をバラバラにして正しい順序に並べ替えるなどがあります。大人は、アニメードール（進行役）として読み聞かせをするとともに、これらの「作戦」を駆使して、子どもたちが本と主体的に関わることで生まれる読む力を引き出すための仲介役をします。



「住み人探せ大作戦」

※資料協力：脇谷邦子さん

使用する本：『100かいだてのいえ』 いわいとしお／著 2008年6月 偕成社 1200円+税

方法：文字を省いた絵を見ながらクイズを出します。

子どもがクイズを作ってもよいでしょう。

クイズ例：どんぐりジュースが すきなのは（ ）さんです。

（ ）から（ ）にすんでいます。

1さいのたんじょうびをむかえたのは（ ）さんです。

トチくんをしょうたいしたのはだれですか。

てんとうむしさんはだれになにをプレゼントしましたか？

ほんがすきなのはだれだれですか。

いちばんほんずきはだれでしょう？

